

複合災害・福井地震70年シンポジウムを開催

～福井河川国道事務所 設置70年～

福井河川国道事務所

昭和23年6月28日に発生した「福井地震」。“震度7”の創設にかかる大きな被害をもたらした「福井地震」はその1ヶ月後に発生した大雨による「洪水」との「複合災害」であったことはあまり知られていません。そこで、この度70年前の複合災害・福井地震について学ぶシンポジウムを開催し、過去に学ぶことで、経験したことのない災害に対してどう備えるのか、そして個人や地域は何ができるのかについて考えて頂く機会になりました。今年には福井復興のため福井河川国道事務所が設置されて70年目の年となります。地域の安全安心の確保のため、引き続き頑張っております。

- 日時 平成30年7月22日(日)
- 場所 福井県 自治会館 (多目的ホール)
- 参加者 220名
- 主催 国土交通省 近畿地方整備局
福井河川国道事務所
- 共催 福井新聞社、NHK福井放送局
- 後援 福井県、福井地方気象台



【来賓挨拶】



福井市
東村 新一 市長

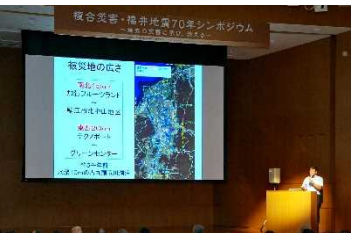
【講演】

- 地震と洪水の複合災害の発生事例と再現実験
～1948福井地震と2016熊本地震～
▶講師 二瓶 泰雄氏 (東京理科大学 理工学部 教授)



- ・熊本地震の複合災害の事例紹介。
- ・複合災害として、地震＋洪水の仕組みを実験動画で紹介。(福井地震に近い状態)

- 災害記録から想起する福井震災
▶講師 吉田 雅穂氏 (福井高専 環境都市工学科 教授)



- ・福井地震が起こった仕組み。
- ・福井地震時と現在を写真で対比させ、福井地震を振り返り、教訓等を紹介。

【感想 (アンケート結果より)】

- ・地域個有の災害リスクに関する正確な情報を得たうえで対処する必要性を痛感しました。(地震、水害、土砂、他)
- ・非常に参考になりました。家族、自治会で少しでも共有して、災害に対する意識を高めて今後の対策につなげてまいります。
- ・災害に対して、大切だと思ったことは、①昔を知る。②今を知る。③他を知る。ということだと思いました。自分は大丈夫だと思わず、もし、起きたときの備え、心構えをしておきたいと思えます。



九頭竜川の復興を速やかに行うため、昭和23年8月に「福井工事事務所(建設省)」を設置。以降、河川整備を行い、地域の安全・安心の確保に努めてきました

【パネルディスカッション】



東京理科大学
二瓶 泰雄 教授



福井工業高等専門学校
吉田 雅穂 教授



気象キャスター
二村 千津子 氏



NHK 福井放送局 記者
沓掛 慎也 氏



福井河川国道事務所 コーディネーター
嶋田 博文 所長



福井新聞社 山下 裕巳 氏

【パネル 展示】



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課
〒918-8015 福井市花堂南2-14-7 TEL 0776-35-2661

